

基本理念

基本方針

施策

事業

未来につなぐ 市民と育む 信頼のすいた水道

安全

I

安全で安心できる
水道水の供給

1. 飲み水としての安全を守る

- (1) 高水準な浄水処理の維持・向上
- (2) 鉛製給水管の対策
- (3) 直結給水の推進、給水装置及び貯水槽水道の適正管理

強靱

II

災害に強く、安定して供給できる
水道施設・体制の構築

1. ふたつの水源を守り充実を

- (1) 地下水源の充実
- (2) 淀川表流水の維持

2. 片山浄水所を中心とした整備を進める

- (1) 片山浄水所水処理施設の増設
- (2) 南千里分岐・片山浄水所送水管の整備
- (3) 片山浄水所配水池の耐震化

3. 浄水所・配水場の整備と管理の向上を

- (1) 浄配水施設の更新・耐震化
- (2) 浄配水施設の維持・管理

4. 水道管の整備と管理の向上を

- (1) 基幹管路の整備
- (2) 配水支管の整備
- (3) 管路の維持管理の充実

5. 災害に強い体制を築く

- (1) 計画・マニュアルの充実
- (2) 応急給水・復旧体制の充実

持続

III

将来にわたり持続可能な
水道事業の経営

1. 強固な経営の土台を築く

- (1) 計画の推進
- (2) 財源確保の取組
- (3) 広域連携による効率的な事業実施
- (4) 効率的な業務執行
- (5) 技術監理の向上

2. 人を育て、強い組織を築く

- (1) 人材育成と技術の継承
- (2) 組織編成の最適化

3. みんなの地球環境を守る

- (1) 環境に配慮した事業の推進

地域

IV

吹田らしさを活かした
市民に身近な水道事業の運営

1. 使う人に便利で快適なサービスを

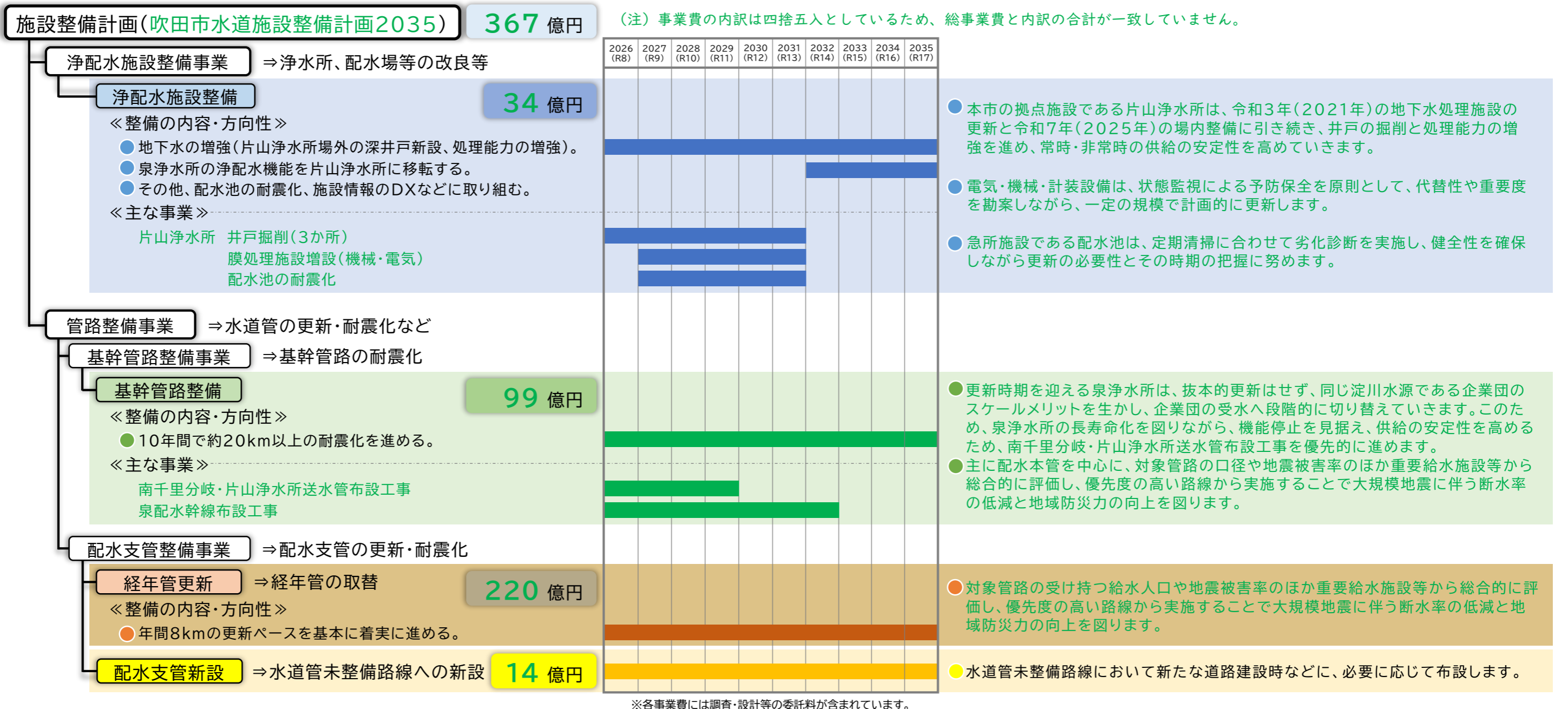
- (1) 料金に係るサービスの充実
- (2) 給水装置の維持管理に係るサービスの充実
- (3) 水道水質に係るサービスの充実

2. 市民といっしょに水道を考える

- (1) 多様な手段による広報の充実
- (2) 市民参画の推進による広聴の充実
- (3) フューチャー・デザインの取組
- (4) 市民とのパートナーシップの推進

2 施設整備計画（吹田市水道施設整備計画2035）のポイント

（1）施設整備計画の概要



（2）優先順位とコストの考え方

- ①水道施設・管路について、地震被害率や代替性の有無、二次災害リスク等を考慮して、より重要なものを優先
- ②管路は、漏水履歴、土壌の腐食性、重要給水施設（避難所・病院等）へのルートなどを加味して検討
- ③コスト面では、保守点検結果（マイクロアセットマネジメント）や重要度等をもとに各年の投資規模を平準化

（3）アセットマネジメントの推進

吹田市水道施設マスタープランに基づき、30年以上の中長期的観点から施設の更新需要と財政面を検証し、投資規模の平準化とともに収支ギャップの解消に向けて、施設の統廃合や発注手法等の検討しながら、将来に渡り健全かつ強靱な水道システムの整備に努めていきます。

